授業科目名・形態	精神障害リハビリテーション論	必修・選択別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	田中 誠	実務経験	有	開講期	3 年前期
科目ナンバリング	W4-3017p				

「授業の主題」

この講義では精神科リハビリテーションの理念や基本原理の理解を基盤にして、具体的援助におけるプロセス、技法を学んでいく。また多職種等との連携、社会資源の活用等の視野も広げていく。またこれまでの豊富な実践例をテキストの内容に当てはめ、理論の解説を講義の内容としたい。さらには国家試験を視野に入れた講義も試みたい。

「到達目標」

1) 精神科リハビリテーションの理念と構成及びチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について理解する。
2) 精神科リハビリテーションのプロセスと精神保健福祉士が行うリハビリテーションの知識と技術及び活用法について理解する。
3) 地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワークの実際について理解する。

「授業計画・内容」

第　１回　精神障害リハビリテーションとソーシャルワーク
第　２回　精神障害リハビリテーションの理念、定義、基本原則
第　３回　医学的、職業的、社会的、教育的リハビリテーション
第　４回　地域およびリカバリーを基盤としたリハビリテーション
第　５回　チームアプローチ
第　６回　精神障害リハビリテーションのプロセス
第　７回　医学的リハビリテーションプログラム
第　８回　デイケア、職業的リハビリテーションプログラム①
第　９回　職業的リハビリテーションプログラム②
第１０回　社会的リハビリテーションのプログラム
第１１回　当事者研究および精神障害リハビリテーションの実施機関
第１２回　家族支援プログラム
第１３回　リハビリテーションに用いられる手法
第１４回　精神障害リハビリテーションの動向と実際
第１５回　依存症のリハビリテーション

「授業実施方法」 講義形式

「授業事前・事後」 事前に教科書を読んでおくこと。復習に重点を置くこと

「主な関連する科目」 精神保健福祉の原理　中央法規

「教科書等」最新3　精神障害リハビリテーション論　中央法規

「参考文献」随時、講義の中で紹介する。

「成績評価方法」筆記試験又は レポート 80%、授業態度２0%により総合的に判断する。

「実務経験及び実務を活かした授業内容」４０年以上の実務経験で得た相談援助をあらゆる場面を学生に提供して学生がどのように対応するかを考える機会を提示したい。

「学生へのメッセージ」

本講義は精神保健福祉専門職の視座、技術、行動規範を学習し、今後の講義や演習の基礎となる講義である。精神保健福祉士を目指す学生は積極的かつ情熱的に知識の習得を目指してほしい。